

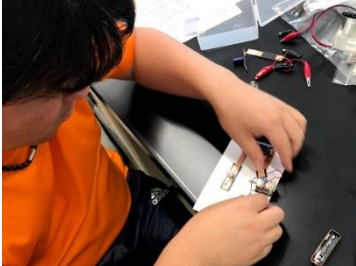




# 理科(小)部会 実技研修会 終了報告

テーマ	「新たな災害時に途切れない教育システムの開発と検証」	
日時	令和 元年 7月 8日(月)	
会場	江別市立第一小学校	
講師	里 浩彰氏 (肩書:)お茶の水女子大学 特任講師	
参加者	約 32 名	
研修会 の 様子		<p>「新たな災害時に途切れない教育システム」</p> <p>普段でも、災害時にも使える教材開発の大切さ、TV電話(ipad)を活用した授業づくりなどについて説明していただいた。</p>
		<p>「教材づくりと教材紹介①」</p> <p>5年流れる水のはたらき、6年土地のつくりと変化 アナグリフ(赤青のセロハンがついたメガネを使うと立体に見えるもの)を活用し、土地の様子を立体的に見ることができる。 国土地理院のホームページにアナグリフの図の原版がある。</p>
		<p>「教材づくりと教材紹介②」</p> <p>銅はくテープや磁石のシートを活用した教材。市販のキットを使うと直列や並列などの付け替えが難しいが、磁石シートの上に置き換えるだけなので扱いが楽になる。また、回路が目に見えているので、分かりやすい教材となっている</p>
		<p>「教材づくりと教材紹介③」</p> <p>6年 電気の利用(プログラミングによる電気の制御) Micro:bit を利用し、学習した内容を活用していく教材。手回し発電機でコンデンサに集めた電気をプログラミングを使って、光や音に変化していく教材。 今回は周りが暗くなると、自動的にランプが点くプログラムを紹介してもらった。</p>
		<p>「教材づくりと教材紹介④」</p> <p>4年人の体のつくりと運動</p> <p>市販の教材の模型は腕の筋肉にゴムを活用している。そのため、経年劣化をしたり、本来筋肉は伸びるものではないのに伸びてしまったりするなどのデメリットがあった。そこで、「ミラクルロケット」という玩具を筋肉に活用し、経年劣化や筋肉の伸びの難点を克服した教材を紹介していただいた。</p>

